

性感染症にかからないため、望まない妊娠を防ぐために

特に若い人たちに心がけてほしいことを、産婦人科の医師にお伺いしました。



自分と相手のことを大切にす

友人から聞いたり、インターネットで調べたりして得た「性」の知識は、偏ったものになることがあります。学校などで教わったことも覚えておきましょう。また、避妊具（コンドーム）を正しく使用すれば、性感染症や思いがけない妊娠を防げる確率が高くなります。その場の雰囲気や勢いなどには流されず、まずは自分の体を大切にしましょう。そして、相手を思いやる気持ちを持つこと、言いたいことを遠慮しないで言える対等な関係を築くことなどが大切です。

もしかして、と思ったら早めに相談を

もし、自分や相手に性感染症や妊娠の心配があったら、早めに周囲の人や病院、相談窓口へ相談してください。言い出しにくいかもしれませんが、早くに相談してもらえると支援できることが多くなりますので、困ったときは私たち大人を頼ってほしいです。

医療法人明日薬会
札幌マタニティ・
ウイメンズホスピタル
産婦人科 鈴木聡医師



「性」の知識と適切な行動を学ぶ

性感染症にかかる人が増加しているほか、全国に比べて10代の人工妊娠中絶の実施率が高い札幌。このページでは、予防のために心がけてほしいことや、もしもの時の相談先を紹介します。

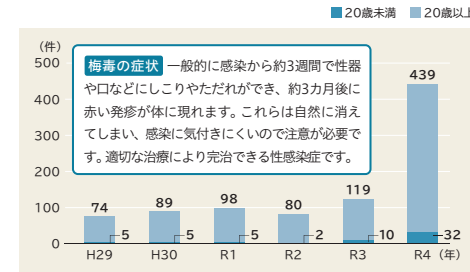
詳細 健康企画課 ☎622-5151



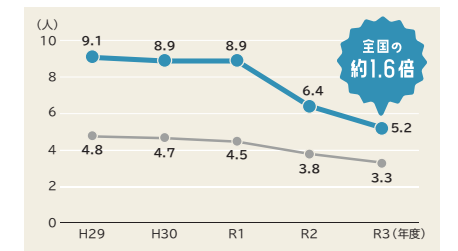
札幌の性感染症・人工妊娠中絶の現状

性感染症とは、性的な行為などによってうつる病気のことです。早めに治療しないと治りが遅くなるほか、不妊症やがんになる危険もあります。最近では、性感染症の一つである梅毒の感染者数が急激に増加。また、人工妊娠中絶をした10代の割合が全国よりも高い状況が続いています。

● 市内の梅毒患者の届出数



● 10代の人工妊娠中絶実施状況 (15～19歳の女子人口千人当たり)



性感染症、妊娠についての相談先

身近な人に相談しにくいときや相談できる人がいないときなど、一人だけで悩みを抱え込まずに、ご連絡ください。

性感染症、妊娠・出産について

● 各区の保健センター

開庁時間 月曜～金曜(祝・休日、12/29～1/3を除く)8時45分～17時15分

梅毒は、エイズ(HIV)検査と同時に無料・匿名で検査が受けられます。詳細はホームページでご確認ください。



区	住所	電話番号	
		性感染症	妊娠・出産
中央	中央区大通西2	205-3357	205-3352
北	北区北25西6	757-1181	
東	東区北10東7	711-3211	
白石	白石区南郷通1南	862-1881	
厚別	厚別区厚別中央1の5	895-1881	
豊平	豊平区平岸6の10	822-2472	
清田	清田区平岡1の1	889-2049	
南	南区真駒内幸町1	581-5211	
西	西区琴似2の7	621-4241	
手稲	手稲区前田1の11	681-1211	

思いがけない妊娠に関する相談窓口

電話やメール、LINEで相談できます。相談は無料です。

● にんしんSOSほっかいどうサポートセンター (社会福祉法人妻の子会)

相談員は全員女性で、誰でも相談できます。
☎080-4621-7722(毎日24時間)
☒ninshin-sos@uginoko.com



● 中高生妊娠相談 (札幌マタニティ・ウイメンズホスピタル)

18歳以下の方が対象で、産婦人科の専門スタッフに相談できます。健康保険証がなくても受診でき、初回の診察は無料です。
☎804-7077(日曜、祝・休日を除く9～17時)
☒kangobu3@smwh.or.jp



どうしてもわからない、誰にも言えない状況で一人で孤独に悩んでいると、苦しいまま時間が過ぎてしまいます。名前を言ってもらわなくても相談に乗りますし、話してくれた秘密は守ります。相談してもらえれば、どうしてもわからないかを一緒に考えて、必ず手助けします。心配なことがあるときはいつでもご連絡してくださいね。

にんしんSOSほっかいどうサポートセンター

所長 由中さん(中央)、
相談員 佐々木さん(左)、
相談員 吉田さん(右)

